



## 外国出張報告書

平成 26 年 3 月 14 日

1. 出張国名     マーシャル諸島共和国
2. 出張月     平成 26 年 1～2 月
3. 出張目的     発酵床豚舎モニタリング、同豚舎現地適応性検証：A

#### 4. 成果の概要

2013 年 11 月～12 月出張時に、豚舎から排出される糞尿の地下水汚染防除技術として、既存豚舎隣に発酵床豚舎 1 房（発酵床面積 6.6m<sup>2</sup>（3.0×2.2m））を整備した。また、床材には現地バイオマス資源である木材、雑草をチップ化した。今回、発酵床豚舎を専門に研究されている畜産環境技術研究所研究員と共に、現地で実施中の発酵床豚舎の現状を調査し、改善点・現地適応性について検討した。

ローラ地区での農業生産基盤となる農家畑の実態を把握するため、野菜畑について作付面積と施肥種の悉皆調査（農家数 43）を実施した結果、作付面積は 2.27ha であった。また、調査農家 42 戸がコブラケーキを元肥として使用していると答えた。作物生育に応じて化学肥料を投与する農家が 27 戸で 62.8%を占め、堆肥使用農家は 6 戸（14.0%）となった。